



# 男子バスケットボール部

## 全国の舞台へ!!!



■九州高等学校総合体育大会		102 - 85	県立小浜(宮崎)
1回戦	瓊浦	72 - 73	別府満部(大分)
2回戦	瓊浦		
■全国高等学校総合体育大会		88 - 93	八戸学院光星(青森)
1回戦	瓊浦		

瓊浦男子バスケットボール部の勢が止まらない。昨年の新チーム策足から、春季戦、新人戦と県大会優勝を果たして迎えた。県高総体を果たして迎えた。りて予選トーナメントを勝ち上りて迎えた決勝リーグ。初戦と、まだまだ全国上位校とのレベルの差は歴然であった。しかし、そんな中でもエースである森山(機3A)のシュート力は、第一高校自当でのバスケットボールファンをも驚かせる異彩を放っており、全国レベルで通用する力があることを十分に示した。

時は長崎西が第一シード(敗れた相手)けれども、今年のチームは四年前とは違った、何より、新入戦、春季戦を制してきたという自信が選手たちにはあった。試合序盤、第1Qこそ相手にペースを譲られ、リードを許したものの、第2Qで逆転すると、その後は落ち着いた試合運びで、一度もリードを許さずことごとく、終わってみれば99-78での勝利。実力の差を見せつける格好となった。総体の優勝旗を持ち帰った瓊浦バスケットボール部。けれども彼らの目標とするのは、さらには全国大会での勝利だ。県大会に続き行われた九州大会では、大分制した強者だけが立つ場所、それがインストアハイ。選手たちは改めて全国レベルの高さ、そして自分たちの弱さを感じることになったに違いない。けれども今回の敗戦は、まだ終わりではない。高校バスケットはインストアハイと同等、いやそれ以上の大会ともいえる冬のシーズンツアーが存在する。今回の敗戦を糧に、どのように成長していくのか。瓊浦男子バスケット部の新たな挑戦が始まる……。

決

# あこがれ 百変バレー



## 男子ハンドボール部 全国準優勝!!!

九州高校総体体育大会	32 - 27	那覇西(沖縄)
1 回戦	38 - 25	小林秀峰(宮崎)
2 回戦	28 - 20	熊本マリアスト(熊本)
準決勝	43 - 27	国分(鹿児島)
全国高校総体体育大会	28	学院院橋本(橋本)
1 回戦	39 - 28	神社(岡山)
2 回戦	35 - 35	神戸国際大付属(兵庫)
3 回戦	35 - 34	北陸(福井)
準々決勝	42 - 33	岩国工(山口)
準準決勝	41 - 26	香川中央(香川)
準決勝	30 - 43	

県大会決勝の相手はライバル長崎日大高校。毎年この決勝の舞台で顔を合わせ、一進一退の攻防を繰り広げて言われながら、決勝で苦汁を飲まされた経験は一度や二度ではない。今年もむしろ相手、今年度は新人戦、春季戦とも瓊浦が勝っており、高総体でも瓊浦が優勢であろうとされていた。

しかしながら、何かあるかわからない、それが高総体。これまでも圧倒的優位と味わえながら、決勝で苦汁を飲まされた経験は一度や二度ではない。今年もむしろ相手、今年度は新人戦、春季戦とも瓊浦が勝っており、高総体でも瓊浦が優勢であろうとされていた。

とで、選手たちには実力はちろん、自信も備わった。あとは頂点に駆け上がるだけ。瓊浦ハンド部の挑戦が始まった。全国大会でも九州王者の勢いは止まらない。落ち着いた試合運びで、あれよあれよと勝ち進んで迎えた準決勝。相手は全国大会常連の岩国工業。練習試合等で何度も手合わせしている相手であり、お互いに手の内を知っている。同士の戦い。試合は大方の予想通り、大きな差がつくことなく接戦のまま過ぎっていく。同点のまま迎えた延長戦。ここで瓊浦の底力が爆発した。立て続けに得点を重ね、最終的には五点を差をつけて勝利。決勝進出を決め、全国の頂上であと一勝のところまで駒を進めた。決勝の相手は香川中央高校。四年前、瓊浦が全国ベスト4に入ったときに優勝している超強豪である。序盤からリードを許す嫌な展開。なかなか差を詰められない時間帯が続くと、後半は徐々に点差を広げられる苦しい展開。焦れば焦るほど失点は増え、一度もリードを奪うことが出来ないまま試合終了の時間を迎えた。結果は十三点差の惨敗。全国王者まであと一步のところまで迫りながら、その一步は遠く、悔しい結果とわれる九州を制したことで、自然となった。全国大会を振り返って主将の大田くん(晋3D)は「途中で苦しい時もあったが、仲間たちと一緒に何とかここまで頑張ることができた。決勝で負けたことについては、悔しい気持ちでいっぱいなので、秋にある団体でできていく瓊浦ハンド部。しかし、優勝となると、二〇二一年に達成して以来、二十二年の間が厚く、実力ある全国優勝の壁は超えられる力がある。しかし、今年のチームはその壁を乗り越えてみたい。たしかに、全国制覇にはあと一步届かなかつた。しかし、全国制覇に手の届く場所まで来たのは確かな事実であり、その偉業は、誰もが簡単にさせることではなされていない。この先も、団体や日本選手権といった大きな大会が控えており、まだまだこのチームで日本一を狙える機会は存在する。是非とも今回の敗戦を糧にし、次こそは頂点の座を勝ち取ってみたい。」

# 卓球部 男子ダブルス

大舞台で見事な輝きを放った。卓球部の坂本進くん(普3D)、趙風瀨くん(普3D)のペアが、全国高等学校総合体育大会卓球競技において、男子ダブルス五位入賞という快挙を達成した。

手にストリート勝ちを取めると、勢いそのままに、二回戦、三回戦とストリートに勝ち、ベスト16に駒を進めた。全国大会で、九州大会では二回戦敗退と、まだまだ全国レベルの相手には実力が及ばないが明らかであった。そんな中躍んだ全国大会本番。一回戦で富山代表の相手



男子ダブルス	対戦相手	結果
1回戦	高岡大谷(富山)	3-0
2回戦	駒大日立(茨城)	3-0
3回戦	明秀大各電(愛知)	3-0
4回戦	愛工大各電(愛知)	3-2
準々決勝	出雲北陵(鳥根)	3-2
男子シングルス	東興学園(青森)	2-3
1回戦	趙	2-3

# IH五位入賞!!

からの勢いそのままに第一セットをものにする。その後の接戦を粘りに粘って勝利勝ち、3-2のフルセットでの勝利。見事ベスト8進出を決めた。

準々決勝の相手は島根代表。1セット目を1-9の優勢でもぎ取り迎えた第二セット。終盤にセプトポイント(あと一点でセット奪取)を迎えたものの、わずかな差で逆転を許し、そのセットを落とすと、続く第三セットも相手の流れを止めることができずに連取される。第四セットは1-9と何とばかり返し、イブニングに持ち込んだものの、善戦もここまで、最終セットは相手の底力に押し切られ、2-1と大差をつけた。この敗戦となった。最終セットは、2セット目を取らなければ、2セット目を取らなければならない、という展開だっただけに悔やまれるが、全国大会という大舞台で、準々決勝敗退、五位入賞という結果は素晴らしい結果であり、本人たちの大きな自信につながったことであろう。

坂本くんは1日全般を振り返って、「自分たちでもここまで勝ち進めるとは思っていなかった。驚いている。二回戦の北海道の相手に勝ったのが大きい。その試合の勢いのまま、次の試合、その試合に臨むことができた。高校最後の1日で、こうして結果が出たのとても嬉しいし、大きな自信につながった。」と語ってくれた。今回の経験を活かし、次なる大きな戦いとなる団体での更なる活躍を大いに期待している。



先に行われた一五〇〇メートル。自己ベストの走りかできれば、上位入賞も十分に考えられる種目であったが、なかなか本来の走りができなかった。予選といえども、相手は各県、各ブロックをたい。

陸上部 井口愁斗くん(普3D) 800m、1500m IH出場!!

先に行われた一五〇〇メートル。自己ベストの走りかできれば、上位入賞も十分に考えられる種目であったが、なかなか本来の走りができなかった。予選といえども、相手は各県、各ブロックをたい。

札 瓊浦で行われた全国高等学校総合体育大会(以下IH)に、井口愁斗くん(普3D)が出場を果たした。井口くんは、昨年度も八〇〇メートル、一五〇〇メートルの二種目でIH出場を果たしており、二年連続でIH二種目出場と進出を果たした。けれども続いた。行われた準決勝では、足の不調もあり、全く自分の走りが出ていないまま五着で終わり、二年連続の決勝進出とはならなかった。タイム的には決勝で走る力には十分にあっただけに、悔しい思いが残る1日となった。けれども、これまでに無い。けれども、戦いはこれで終わってしまったわけではない。十月に鹿児島で行われる団体への出場が決まっている井口くん。今回の悔しい経験をバネに、次こそは全国の決勝の舞台で、自分の走りを見せてくれることを大いに期待している。

そして、その先には十一月の県高校駅伝が控える。昨年、見事都大路への出場を果たした男子陸上部。二年連続の全国駅伝出場権を勝ち取るためには、井口くんの更なるレベルアップが必要不可欠だ。全国レベルで戦う井口君くんの挑戦を応援したい。

# 男子バドミントン部 全国ベスト16!!

# 重圧を突破

たしかに、昨年度の全国優勝という結果を見ると、「今年はダメだった」と

たちらには胸を張って欲しい。

た戦いを見せてくれた選手

の舞台で堂々とし

いだろうが、全国

悔しい気持ちは大き

ない相手ではなかっただけに、

結果に終わった。決して勝て

した戦いは、三回戦

敗退、ベスト16という

続の1日王者を目指

トット負け、二年連

まず、第1シシクルスはス

流れを再び引き戻すことはで

まった。一度傾いた

に持って行かれてし

落とし、流れを相手

ダブルスの林田・高田が接戦を

を取めたものの、第2

順調にポイントを重ね勝利

1ダブルスの川本・山口が

果たしている強豪である。第

長野商業。選抜でも五位入賞を

え、迎えた三回戦の相手は

→一回戦の奈良大附属戦を

わった。

全国でも十分に戦える方が備

たダブルス2ペアも好調で

3D・高田(普2D)といっ

(普3D)・山口(普3D)、林田(普

がシングルスでエース格に成長し、川本

全国の舞台、一年生の草ノ瀬(普1D)

な強さで上位入賞を認め、迎えた

パルした。県大会、九州大会では圧倒的

そんなか中で迎えた今年の1日。絶対的なエー

わっていた。

た全国選抜大会では、初戦から強豪校との対戦

のような絶対的なエースは不在。三月に行われ

た状況での新チーム始動。昨年度の櫻井、奥野

栗し、ほとんど団体戦のメンバーは入れ替わっ

だろう。実際には、昨年度の優勝メンバーは卒

国チャンピオンという重圧との戦いでもあった

同部。周開からの期待もあり、この一年間は全

大会において全国優勝という偉業を成し遂げた

戦ベスト16という結果に終わった。昨年度、同

国高等学校総合体育大会において、団体

も、毎年選手が入れ替わる学生スゴウの場で、

好成績を残し続けるということがどれほど困難

なのかというのには、そこに関わった人にかわ

からない。そんな中、全国ベスト16という成績

ものは、素晴らしいものであり、十分に誇ってよ

ものであろう。今回の1日を終えて顧問の森先

生は「生徒たちはよく頑張ってくれた。全国で

勝つことの難しさを教えてもらった大会だっ

た」と感想を語ってくれた。激戦を終え

た選手たちは休む間もなく、次の戦いに赴いて

いく。今回の経験を糧にし、新たなスゴウで

更なる輝きを見せてくれることを大いに期待

している。



## 立て若き翼 北海道総体 2023



## 翔び立て 北海道総体

■学校対抗戦	2回戦	3-0	奈良大附属(奈良)	組	ベスト16
ダブルス	3回戦	1-3	長野商業(長野)	組	2回戦敗退
林田(普3D)・高田(普2D)	組	3回戦敗退			
草ノ瀬(普1D)	組	3回戦敗退			

- 全九州高等学校空手道競技大会
- 男子団体相手 1回戦 瓊浦 0-5 九州学院(熊本)
- 男子個人相手 石川 碧沙 (備3C) 優勝
- 中村 虎太郎 (備3C) ベスト16
- 女子団体相手 1回戦 瓊浦 5-0 徳之島(徳島県)
- 2回戦 瓊浦 0-4 文徳(熊本)
- 女子個人相手 江村 翠芽 (備3A) ベスト8
- 中島 梨華 (備3A) ベスト16
- 吉村 千朝 (備2D) ベスト16
- 全国高等学校総合体育大会空手道競技
- 男子団体相手 1回戦 瓊浦 1-4 松山工(愛媛)
- 男子個人相手 石川 碧沙 2回戦敗退
- 女子団体相手 2回戦 瓊浦 0-5 済美(岐阜)
- 女子個人相手 江村 翠芽 1回戦敗退
- 鈴木 美深 2回戦敗退

一年連続の

九州総体王者

昨秋の新人戦も含め

ると、九州大会三連

覇という偉業を達成

し、名実ともに「九

州最強」それが、男

子個人相手に全国大会出

場を果たした石川碧沙くん(備

3C)だ。九州王者として迎えた

昨年の1日では、個人組手で三回

戦敗退、ベスト32という結果に終

わった。「昨年よりも一つも上の

順位を、目指すは一番上」と強い

気持ちで臨んだ今回の1日。一回

戦を危なげなく勝ち上がって迎え

た二回戦。相手は全国常連の超強

豪、大阪の浪速高校の選手。石川

くんは強豪相手にも臆することな

く戦い、先にポイント奪い取り

ドしたものの、その後逆転を許し、

1-3という僅差での惜敗となっ

た。二回戦敗退と昨年よりも成績

的には下となってしまったものの、

強豪相手に背戦を見せ、全国の舞

臺つってもらいたい。

石川くんは大会を振り返

る戦戦となった。

の力があつただけに悔やまれ

た石川くん。十分に全国優勝

を最も苦しめた試合をし

る、九洲大会三連

覇という偉業を達成

し、名実ともに「九

州最強」それが、男

子個人相手に全国大会出

場を果たした石川碧沙くん(備

3C)だ。九州王者として迎えた

昨年の1日では、個人組手で三回

戦敗退、ベスト32という結果に終

わった。「昨年よりも一つも上の

順位を、目指すは一番上」と強い

気持ちで臨んだ今回の1日。一回

戦を危なげなく勝ち上がって迎え

た二回戦。相手は全国常連の超強

豪、大阪の浪速高校の選手。石川

くんは強豪相手にも臆することな

く戦い、先にポイント奪い取り

ドしたものの、その後逆転を許し、

1-3という僅差での惜敗となっ

た。二回戦敗退と昨年よりも成績

的には下となってしまったものの、

強豪相手に背戦を見せ、全国の舞

臺つってもらいたい。

- 全九州高等学校総合体育大会
- ピン級 Aパート
- 榊原 士貴(普3B) 1回戦敗退
- ライオンフライ級 Aパート
- 成瀬 太陽(普3B) 1回戦敗退

- 全国高等学校総合体育大会
- ライオンフライ級
- 成瀬 太陽(普3B) 1回戦敗退
- 山下 裕也(備3C) 1回戦敗退

- 全国高等学校総合体育大会
- ライオンフライ級
- 成瀬 太陽(普3B) 1回戦敗退
- 山下 裕也(備3C) 1回戦敗退



# 全国大会で躍動!!

# てっぺんを目指して



### 陸上競技部

〈男子団体〉 第5位  
 〈男子個人〉  
 〈男子 200 m〉 第5位 山崎 海輝 (備3 C) 北九州大会出場  
 〈男子 400 m〉 第4位 山田 蓮 (備3 C) 北九州大会出場  
 〈男子 800 m〉 第1位 井口 愁斗 (備3 D) 北九州大会出場  
 〈男子 1500 m〉 第2位 井口 愁斗 (備3 D) 北九州大会出場  
 第7位 真崎 俊介 (備2 D)  
 〈男子 5000 m〉 第5位 川口 新太 (備3 C) 北九州大会出場  
 第8位 松尾 岳 (備3 A)  
 〈男子 3000 m SC〉 第5位 樋田 幸星 (備3 A) 北九州大会出場  
 第6位 東秀敏 (備3 B) 北九州大会出場  
 〈男子 4×400 m R〉 第3位  
 山田 (備3 C)、山崎 (備3 C)、島口 (備3 D)、井口 (備3 D)  
 北九州大会出場

### 剣道部 [男子]

〈男子団体〉 **ベスト8**  
 予選リーグ ○瓊浦 2-1 諫早農業 × ○瓊浦 4-0 鎮西学院 ×  
 ○瓊浦 4-0 巻枝 ×  
 準々決勝 ×瓊浦 0-0 五島 ○ (代表戦負け)

### 柔道部 [男子]

〈男子団体〉 **ベスト8**  
 予選リーグ ○瓊浦-鎮西学院 × ×瓊浦-佐世保工業 ○  
 ○瓊浦-青雲 ×  
 決勝トーナメント  
 準々決勝 ×瓊浦-長崎南山 ○  
 〈男子個人〉  
 〈男子 73kg級〉 第3位 岩井 大滯 (備1 D)  
 〈男子 81kg級〉 第3位 松田 祐典 (備3 C)

### 女子バスケットボール部

**ベスト8**  
 2 回戦 ○瓊浦 85-67 佐世保西 ×  
 3 回戦 ○瓊浦 87-58 長崎北 ×  
 準々決勝 ×瓊浦 54-104 鳥原中央 ○

### 女子バドミントン部

〈団体〉 **ベスト8**  
 2 回戦 ○瓊浦 3-0 大村 ×  
 3 回戦 ○瓊浦 3-0 奈留 ×  
 準々決勝 ×瓊浦 0-3 長崎女子 ○

### 女子ハンドボール部

**ベスト8**  
 1 回戦 ○長崎日大・瓊浦 16 (8-6 8-6) 12 長崎商業 ×  
 準々決勝 ×長崎日大・瓊浦 9 (2-11 7-15) 26 浦峰 ○

### 男子バレーボール部

2 回戦敗退 ×瓊浦 0 (19-25 23-25) 2 諫早農業 ○

### 女子バレーボール部

1 回戦敗退 ×瓊浦 0 (18-25 24-26) 2 口加 ○

### サッカー部

1 回戦敗退 ×瓊浦 1 (1-1 0-1) 2 鎮西学院 ○

### ソフトテニス

〈男子団体〉 1 回戦敗退 ×瓊浦 0-3 海星 ○

# 総体

## 年度

### 水泳部

〈男子団体〉 第5位  
 〈男子個人〉  
 〈男子 50 m自由形〉 第2位 高比良 竜一 (備1 D) 九州大会出場  
 〈男子 100 m背泳ぎ〉 第3位 浦川 幸 (備1 B) 九州大会出場  
 〈男子 100 m自由形決勝〉 第3位 高比良 竜一 (備1 D) 九州大会出場  
 〈男子 200 mバタフライ〉 第7位 福井 翼夢 (備3 A)  
 〈男子 200 m背泳ぎ〉 第3位 浦川 幸 (備1 B) 九州大会出場  
 〈男子 200 m平泳ぎ〉 第7位 谷口 龍弥 (備2 A)  
 〈男子 1500 m自由形〉 第8位 保野 凌空 (備2 D)  
 〈男子 200 m個人メドレー〉 第2位 野上 海斗 (備2 C) 九州大会出場  
 第7位 加藤 麗央 (備2 A)  
 〈男子 4×100 mメドレーリレー〉 第5位 野上 海斗 (備2 C) 九州大会出場  
 第6位 浦川 (備1 B)、野上 (備2 C)、福井 (備3 A)、高比良 (備1 D) 九州大会出場  
 〈男子 4×100 mフリースタイルリレー〉 第7位 福井 (備3 A)、米澤 (備1 A)、野上 (備2 C)、高比良 (備1 A)  
 〈男子 4×200 mフリースタイルリレー〉 第5位 高比良 (備1 D)、米澤 (備1 A)、野上 (備2 C)、福井 (備3 A) 九州大会出場  
 〈女子団体〉 第5位  
 〈女子個人〉  
 〈女子 50 m自由形〉 第2位 宮野 さくら (備2 A) 九州大会出場  
 第7位 松木 海音 (備2 A)  
 〈女子 100 mバタフライ〉 第4位 松木 海音 (備2 A) 九州大会出場  
 第8位 釜田 柚鈴 (備2 A)  
 〈女子 100 m自由形〉 第2位 宮野 さくら (備2 A) 九州大会出場  
 〈女子 200 m平泳ぎ〉 第4位 中道 愛心 (備3 A) 九州大会出場  
 〈女子 200 m個人メドレー〉 第8位 釜田 柚鈴 (備2 A)  
 第2位 中道 愛心 (備3 A) 九州大会出場  
 第4位 田添 愛 (備1 A) 九州大会出場  
 〈女子 400 m個人メドレー〉 第8位 太田尾 美瑛 (備2 D)  
 第5位 宮野 (備2 A)、中道 (備3 A)、松木 (備2 A)、太田尾 (備2 D) 九州大会出場  
 〈女子 4×100 mメドレーリレー〉 第5位 松木 (備2 A)、釜田 (備2 A)、中道 (備3 A)、宮野 (備2 A) 九州大会出場  
 第4位 松木 (備2 A)、釜田 (備2 A)、中道 (備3 A)、宮野 (備2 A) 九州大会出場  
 〈女子 4×200 mフリースタイルリレー〉 第6位 宮野 (備2 A)、太田尾 (備2 D)、城野 (備2 A)、田添 (備1 A) 九州大会出場

### 男子バスケットボール部

〈団体〉優勝 【23年ぶり9回目の優勝】 インターハイ・九州大会出場  
 2回戦 ○瓊浦 196 - 22 鹿町工業×  
 3回戦 ○瓊浦 117 - 63 大村工業×  
 準々決勝 ○瓊浦 86 - 73 長崎東×  
 決勝リーグ ○瓊浦 94 - 71 佐世保工業×  
 ○瓊浦 97 - 84 長崎日大×  
 ○瓊浦 99 - 78 長崎西×

### 男子バドミントン部

〈団体〉優勝 【8大会連続36回目の優勝】 インターハイ・九州大会出場  
 1回戦 ○瓊浦 3 - 0 創成館×  
 2回戦 ○瓊浦 3 - 0 糸留×  
 準々決勝 ○瓊浦 3 - 0 長崎西×  
 準決勝 ○瓊浦 3 - 0 長崎工業×  
 決勝 ○瓊浦 3 - 0 佐世保実業×

〈個人シングルス〉

優勝 小野 隆之介 (番3D) インターハイ・九州大会出場  
 準優勝 草ノ浦 悠生 (番1D) インターハイ・九州大会出場  
 第3位 林田 真龍 (番3D) 九州大会出場  
 中島 天 (番3D) 九州大会出場  
 上里 美人 (番3D)  
 ベスト8 高田 隆誠 (番2D)  
 ベスト8 高橋 輝 (番2D)  
 ベスト8

〈個人ダブルス〉

優勝 林田 (番3D)・高田 (番2D) ベア インターハイ・九州大会出場  
 準優勝 櫻井 (番2D)・高橋 (番2D) ベア インターハイ・九州大会出場  
 第3位 川本 (番3D)・山口 (番3D) ベア 九州大会出場  
 第3位 小野 (番3D)・大石 (番3D) ベア 九州大会出場  
 ベスト8 城山 (番3D)・仲里 (番2D) ベア  
 ベスト8 花本 (番2D)・松本 (番2D) ベア

### 男子ハンドボール部

優勝 【4年ぶり18回目の優勝】 インターハイ・九州大会出場  
 準々決勝 ○瓊浦 37 (19 - 2 18 - 1) 3 佐世保北×  
 準決勝 ○瓊浦 41 (18 - 4 23 - 8) 12 鹿町工業×  
 決勝 ○瓊浦 26 (11 - 12 15 - 11) 23 長崎日大×

### 空手道部

〈男子団体〉優勝 【2大会連続23回目の優勝】 インターハイ・九州大会出場  
 準決勝 ○瓊浦 3 - 2 佐世保北×  
 決勝 ○瓊浦 3 - 0 九州文化学園×  
 〈男子個人〉  
 〈個人形〉 第3位 浦田 隼虎 (番3A) 九州大会出場  
 〈個人相手〉 優勝 石川 碧汐 (番3C) インターハイ・九州大会出場  
 第3位 中村 虎太郎 (番3C) 九州大会出場  
 〈女子団体〉優勝 【3大会連続18回目の優勝】 インターハイ・九州大会出場  
 準決勝 ○瓊浦 4 - 1 狭興館×  
 決勝 ○瓊浦 3 - 0 長崎日大×

〈女子個人〉

優勝 江村 翠尋 (番3A) インターハイ・九州大会出場  
 準優勝 鈴木 美凛 (番3A) インターハイ・九州大会出場  
 第3位 中島 梨華 (番3A) 九州大会出場

### ボクシング同好会

〈団体〉優勝 【2大会連続24回目の優勝】  
 〈個人〉  
 〈ピン級〉 優勝 神原 士貴 (番3B) 九州大会Aパート出場  
 準優勝 中尾 仁 (番2C) 九州大会Bパート出場  
 〈ライトフライ級〉 優勝 成瀬 太陽 (番3B) インターハイ・九州大会出場  
 第3位 中尾 一氣 (番3C)  
 〈フライ級〉 優勝 山下 裕也 (番3C) インターハイ・九州大会出場  
 〈バンタム級〉 第3位 岩下 豊成 (番3C)  
 第3位 古木 元 (番2B)  
 〈ライトウェルター級〉 第2位 柴野 颯一 (番2A) 九州大会Bパート出場



# 令和5 瓊浦

結果一覧

### 卓球部

〈男子団体〉 準優勝 九州大会出場  
 2回戦 ○瓊浦 3 - 0 佐世保南×  
 3回戦 ○瓊浦 3 - 1 口加×  
 準々決勝 ○瓊浦 3 - 0 鹿町工業×  
 準決勝 ○瓊浦 3 - 0 巻枝×  
 決勝 ×瓊浦 0 - 3 狭西学院○  
 〈男子シングルス〉  
 優勝 趙 禹濶 (番3D) インターハイ・九州大会出場  
 第5位 早野 勇汰 (番1D) 九州大会出場  
 ベスト8 小田原 煌 (番3B)  
 〈男子ダブルス〉  
 優勝 坂本 (番3D)・趙 (番3D) ベア インターハイ・九州大会出場  
 第3位 小田原 (番3B)・山崎 (番2A) ベア 九州大会出場  
 ベスト8 早野 (番1D)・酒匂 (番1D) ベア  
 ベスト8 大久保 (番1D)・川村 (番1B) ベア

### 剣道部 [女子]

〈女子団体〉 第3位  
 予選リーグ ○瓊浦 1 - 0 長崎日大× ○瓊浦 2 - 0 清峰×  
 決勝トーナメント  
 準々決勝 ○瓊浦 1 - 0 長崎東×  
 準決勝 ×瓊浦 0 - 3 島原○

### 柔道部 [女子]

〈女子団体〉 第3位  
 予選リーグ ○瓊浦 - 狭興館×  
 決勝リーグ ×瓊浦 - 長崎明誠○ ×瓊浦 - 佐世保工業○ ×瓊浦 - 五島○  
 〈女子個人〉  
 〈女子 52kg級〉 第3位 若井 静帆 (番2B)  
 〈女子 78kg超級〉 準優勝 前田 花梨 (番3D) 九州大会出場

学校を変えるのは、

君たちだ!!

new student council



松尾さん(機2A)

松本さん(機2A)

鈴木さん(機2A)

# 生徒総会・生徒会役員選挙実施

七月十一日、令和五年度の第一回生徒総会ならびに、新生徒会役員選挙が行われ、開票の結果、新生徒会長に松木海音さん(情2A)が選出された。また、同日に副会長に選挙も行われ、鈴木輝良くん(機2A)、松尾慎太郎くん(機2A)の二名が選出された。新生徒会長に決まった松本さんは、「校長先生がいっもおっしゃっているような『日本一楽しい学校』になるよう、生徒一人一人が楽しめるような学校づくりを協力していきたい」と思っています。そのためにまず、一人でも多くの生徒が、自分の意見を言える環境づくりを取り組みたいです。そういった環境を整えることで、より生徒みんなにとって過ごしやすい学校になるといえます。頑張っていきたいと思います。と今後の抱負を語ってくれた。

役員選挙の演説の際に、松尾くんが話した、「学校を変えるのは、生徒一人一人が話した結

果等の説明が

生徒総会で、話に行われる第二回し合いが行われ、秋

今後教職員の中で話などといったもので、

「スクールバスを出して欲しい」

「二年生の制服であるポロシャツを」「三年生にも認めて欲しい」

生徒総会で、話に行われる第二回し合いが行われ、秋

今後教職員の中で話などといったもので、

「スクールバスを出して欲しい」

「二年生の制服であるポロシャツを」「三年生にも認めて欲しい」

なされる予定である。

何かを変えようと口にするのは簡単だが、変えるためには、それまでの慣習や考え方も含め、様々なことを考え検討する必要がある。

簡単に変えられるものと変えられないものがあるのは当然だ。かといって、どうせ無理だと諦めて何も言い出さなかつたら、いつまでも旧態依然なまま時間は過ぎてしまう。今回一つの区切りを迎え、新たな生徒会執行部が誕生する。これを良い機会ととらえ、新たなよりよい瓊浦高校を目指して、頑張ってもらいたいものだ。

赤アロック	青アロック	黄アロック	緑アロック
番1D	番1B	情1A	番1A
機1A	機1B	番2A	番1C
番2B	情2A	番2A	番2D
機2B	機2A	番3B	番3C
情3A	番3A	番3D	機3B
機3A	機3C		機3B

九月二日(土)、令和五年度の体育祭が実施予定だ。場所は昨年同様、県立総合体育館での開催となる。昨年は、コロナ禍ということもあって、無観客での縮小された体育祭であったが、今年度はコロナウイルスの流行もある程度落ち着きを見せたことで、生徒の保護者のみではあるものの、観客を入れた状態での体育祭開催が予定されている。

例年同様、四つのアロックに分かれ様々な競技で点数を競う。毎年恒例となつているアロック別演技をはじめ、男子のエッサッサ、女子の創作ダンスなど見所もたくさんである。体育館での開催ということで、会場の収容人数の関係などで誰でも入場可能というわけにはいかないものの、保護者の皆さんには是非とも一生懸命な学校行事に取り組み生徒たちの姿をご覧になっていただきたいものだ。

# 燃えよこれ 瓊浦魂

体育祭 県立総合体育館で

開催決定

令和5年度 2学期行事予定

8月23日 2学期始業式

9月1日 体育祭予行練習

9月2日 体育祭

9月3日 第3回学校説明会

9月4日 振替休日(9月2日)

9月5日 振替休日(9月3日)

9月8日 基礎製図検定

9月12日 進学推薦委員会

9月12日 就職出陣式③

9月16日 就職試験開始

9月19日 薬物講話

9月26日 中間考査(28日)

9月29日 第2回英語検定

10月11日 瓊浦祭特別時間割

10月12日 瓊浦祭(13日)

10月17日 学校周辺清掃③

10月18日 献血(19日)

10月24日 自動車学校入校説明会③

10月25日 私学振興大会

10月31日 駅伝壮行会

11月2日 県高校駅伝

11月17日 計算技術検定

11月22日 球技大会

11月23日 危険物取扱者試験

11月30日 期末考査(5日)

12月7日 体育コース発表会

12月8日 バソコン利用技術検定

12月12日 進路ガイダンス②

12月19日 面接予行練習②

12月20日 2学期終業式

12月21日 冬季補習(26日)